

Clinical and immunological effects of hydroxychloroquine in patients with active rheumatoid arthritis despite antirheumatic treatment

従来型抗リウマチ薬加療で活動性の残存した日本人関節リウマチ患者における
ヒドロキシクロロキンの有効性の検討

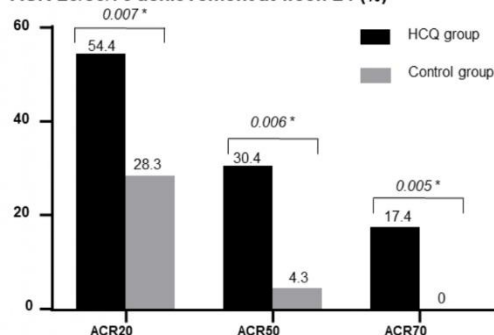
武井 裕史

「従来型抗リウマチ薬加療で活動性の残存した日本人関節リウマチ患者におけるヒドロキシクロロキンの有効性の検討」を行いました。ヒドロキシクロロキンは本邦では関節リウマチに対して保険適応がありませんでしたが、先進医療の枠組みで投与を行い、初めて日本人関節リウマチ患者での有効性、安全性を証明しました。

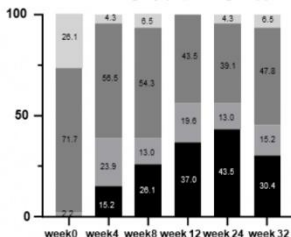
<https://doi.org/10.1093/mr/roac153>

従来型抗リウマチ薬加療で活動性の残存した日本人関節リウマチ患者におけるヒドロキシクロロキンの有効性の検討

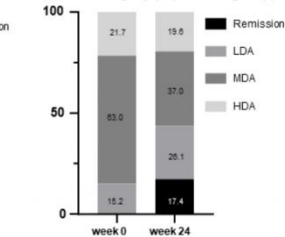
ACR 20/50/70 achievement at week 24 (%)



DAS28-ESR category (% HCQ group)



DAS28-ESR category (% control group)



・従来型抗リウマチ薬治療で活動性の残存した関節リウマチ(RA)患者60例を対象にヒドロキシクロロキン(HCQ)を24週間追加投与し、傾向スコアマッチングしたコントロール群と比較検討を行った

・HCQ群の24週時のACR20/50/70改善率、DAS28寛解率はコントロール群と比して有意に高かった

・有害事象として感染症と胃腸障害を高頻度に認めたがいずれも入院加療を要せず軽快した。関連する重篤や未知の有害事象、網膜症を認めなかった

・HCQ治療はヒストリカルコントロール集団よりも有効性が高く、安全性上懸念される新たな事象は認められなかった。

Takei H, et al. Mod Rheumatol 2024;34(1):50-59, Figure 2a, Figure 3a